

2023年2月7日

各 位

オリックス株式会社

イスラエルのベンチャーキャピタルが運営する 海事テックファンド「Navigator II」へ出資 ～海事テック企業とのネットワーク構築およびビジネス機会を獲得～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、海事セクター専門のベンチャーキャピタルファンド theDOCK^{※1}（本社：イスラエル・ハイファ）が運営する、海事テックファンド「Navigator II」へ出資しましたのでお知らせします。海事専門のベンチャーキャピタルが運営するファンドへの出資は、オリックスとして初の取り組みです。

「Navigator II」は、海事分野のスタートアップ企業への出資に特化した投資ファンドです。海運や港湾オペレーション、サプライチェーンなどの海事関連事業で、屋外位置検知ソリューションや海洋のCO₂除去ソリューションなど、最新テクノロジーを活用した新たなサービスを創出する有望なスタートアップ企業へ投資しています。

今回の出資を通じてオリックスは、theDOCK との連携により、脱炭素やDXの分野で今後の成長が期待できる海事関連スタートアップ企業とのネットワーク構築および海事テック事業への知見を深め、ビジネス機会の獲得を目指します。

オリックスは、1960年代後半に国内で中古船リースの取り扱いを始め、1970年代前半からは船舶ファイナンス事業を国際的に展開しています。1977年には船舶のマネジメントおよび保守・管理を行うペルサス・シッピング株式会社（現オリックス・マリタイム株式会社）を設立するなど、ファイナンス事業、船舶投資事業（自社保有・運航）から船舶の売買・仲介まで、事業ノウハウを50年以上にわたり蓄積してきました。現在バルカーを中心に複数隻を保有し、国内外の穀物商社や電力会社などの大手企業へ輸送サービスを提供しています。

オリックスグループは一昨年、ESG関連の「重要課題」と「重要目標」を新たに設定^{※2}し、サステナビリティ活動を推進しています。船舶事業においては、エコシップの発注^{※3}、サステナブル・リンク・ローンの提供^{※4}、航海中のフードロス削減、台風被害に遭われたフィリピン人船員への義援金提供など、ESGを意識した事業活動にも取り組んでいます。

今後もこれまでに培った経験や専門性をもとに、海運の脱炭素化をはじめとする、サステナビリティにつながる取り組みをグローバルに推進してまいります。

Press Release



- ※1 theDOCK ウェブサイト: <https://www.thedockinnovation.com/>
- ※2 [2021年11月4日付プレスリリース: ESG関連の「重要課題」「重要目標」の設定ならびに「サステナビリティ委員会」の設置について](#)
- ※3 [2021年7月19日付プレスリリース: 常石造船の最新鋭エコシップ「TESS66 エアロライン」を第一号発注](#)
- ※4 [2022年2月17日付プレスリリース: 船舶ファイナンスでサステナブル・リンク・ローンの提供を開始](#)

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
グループ広報・渉外部 金岡・武鐘 TEL: 03-3435-3167